

教科(科目)	芸術（音楽Ⅰ）	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	Tutti+（教育出版）				
副教材等					

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と広く関わる資質・能力を育成する。

2 指導の重点

- ・発声の仕方や各楽器の基本的奏法を習得させ、表現する楽しさを味わわせる。
- ・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫させる。
- ・様々な音楽を演奏・鑑賞し、それぞれのよさや面白さを味わうことで音楽的視野の拡充を図る。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めようとしている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表わそうとしている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価したりしながらよさや美しさを聴こうとしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・実技発表での技能や表現の分析 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組の観察 ・実技発表での技能や表現の分析 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や実技発表への取組の観察 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。

5 学習計画

学期	題材名	授業時数	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
1	イタリア語で歌おう	6	・歌詞の意味を理解しイメージをもって歌う ・声の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取って鑑賞する	a, c b, c	実技発表 ワークシート
	声の魅力を味わおう	2			
	ピアノを弾いてみよう	8	・ピアノの基本的奏法を身につける ・いろいろな楽器の音色や特徴を感じ取る	a, c b, c	取組・実技発表 ワークシート
	器楽曲を聴いてみよう リズムで表現しよう	2 4			
2	表現を工夫して合唱しよう	6	・各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱する ・ギターの基本的奏法を身につける	a, b, c a, c	授業の取組 取組・実技発表
	ギターを弾いてみよう	6			
	日本とアジアの音楽に親しもう	6	・演奏や鑑賞を通して、声や楽器の音色、旋律の特徴、歴史的文化的背景を理解する ・音階の特徴を生かして旋律をつくり副次的なメロディーや和音をつける	b, c b, c	ワークシート 取組・実技発表
	音階の特徴を生かしてつくろう	4			
	ドイツ歌曲を歌おう	6	・ドイツ語の特徴を理解して歌唱する ・ドイツ歌曲を鑑賞する。	a, b, c	取組・実技発表 ワークシート

3	ベルの響きを味わおう	6	・ベルの響きを味わいながら、協力してグループ演奏する	a, c	取組・実技発表
	オーケストラを聴こう	4	・様々な楽器が重なって生み出される美しさや壮大さを感じ取る	b, c	ワークシート
	アンサンブルを 楽しもう	10	・いろいろな楽器の組み合わせを生かしてアンサンブルする	a, b, c	取組・実技発表

計 70 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

- ・表現の題材では、実技発表を行います。
- ・表現と鑑賞の題材ではワークシートや課題を記入し、提出します。

7 担当者からの一言

授業は、歌唱・器楽・創作・鑑賞などさまざまな活動を組み合わせて進めていきます。
「わかる」「できる」ことは楽しいことです。少しずつ練習を積み重ねて、その喜びを味わいましょう！